

平成 2 9 年 第 5 回 猪苗代町議会定例会

町長説明要旨（ 9 / 5 ）

本日、平成 2 9 年 第 5 回 猪苗代町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には何かとご多用の中ご出席をいただき、ご審議をお願いできますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

さて、今議会が開催されるにあたり、平成 2 8 年度歳入歳出決算の認定をはじめ、平成 2 9 年度一般会計を含む 1 3 件の補正予算案など、重要な議案を提出いたしておりますので、慎重なるご審議をお願いするとともに、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

提出議案の説明に先立ちまして、当面する町政の諸課題につきまして、所信の一端を申し上げたいと存じます。

（町総合防災訓練について）

はじめに、本年度実施を予定しております町総合防災訓練について申し上げます。

町では、災害対策基本法及び地域防災計画に基づき、関係機関等との緊密な連携の下、災害時における各種の対応が迅速かつ確実に実施できるよ

う防災体制を確立するとともに、多発する自然災害等に備え地域住民の防災意識の高揚を図るため、隔年開催で総合防災訓練を実施しております。

本年度は、地震災害と大雨による土砂災害の発生や磐梯山の火山活動が活発化したことを想定したなかで、関係機関等の参画の下、11月18日に開催することといたしました。

訓練会場は、町役場をはじめ、猪苗代小学校、亀ヶ城公園、そして道の駅猪苗代を予定し、避難訓練、放水訓練、交通障害除去訓練、救出救助訓練等を実施する予定であります。

本町においても、磐梯山や安達太良山などの活火山を有するとともに、地震や台風など、あらゆる災害の発生リスクを抱えており、万一の場合を想定した貴重な訓練であることから、遺漏のないよう実施してまいりますので、議員各位のご協力をお願い申し上げます。

（水稻の生育状況等について）

次に農業情勢について申し上げます。

本町農業の基幹作物であります水稻の生育状況ではありますが、田植期以降比較的好天に恵まれ、気温も平年を上回っていたことから、ほぼ順調に推移しておりましたが、梅雨入り後の7月に入っ

てからは天候不順となり、更に梅雨明け後も雨の日が多く、特に８月に入ってから日照不足と気温の上がない日が続いたため、水稻をはじめとする本町農作物の生育への影響を危惧しているところであります。

現時点では、日照不足によるイモチ病の発生が心配されるものの、積算気温については平年並みに持ち直してきていると聞いておりますので、今後の更なる天候の回復を期待し、そして生産者の方々の適切な管理により、高品質で平年並み、又はそれ以上の作柄となることを願っております。

さて、来年平成３０年産米からは、国からの主食用米の生産数量目標の配分が行われなくなりますが、米価の下落を抑え、安定した稲作農業経営を持続させるためには、需要量に見合った生産調整は引き続き必要であることから、関係機関や認定方針作成者の方々のご意見等をお聞きし、来年の主食用米作付けにあたっては、今年産と同程度での計画をお願いしたところです。

今後も、関係機関や生産者と連携し、需給に関する情報収集と情報提供に努めるとともに、米をはじめとした本町農畜産物のブランド化を推進するため、各種事業に取り組んで参ります。

また、先月会津よつば農業協同組合と管内

全 17 市町村との初の合同トップセールスを東京都内で実施し、市場関係者や消費者へ会津の農産物の P R をして参りました。

今後も、東京電力原発事故からの風評払拭と会津産農産物の消費拡大に向け、管内市町村と連携し、会津ブランドの確立を図って参ります。

（有害鳥獣対策について）

次に、有害鳥獣対策について申し上げます。

ツキノワグマにつきましては、昨年度は 8 月末時点で捕獲頭数は 9 頭でしたが、本年度につきましては、先月末に人身事故が発生したものの、餌となるドングリなどの堅果類の生育状況も比較的良く、また電気柵設置の効果などもあり、目撃及び被害件数も減少しており、8 月末現在での捕獲頭数は 4 頭となっております。

また、イノシシにつきましては、昨年度 1 年間では 15 頭、8 月末時点で 5 頭の捕獲でしたが、本年度は 7 頭の捕獲となっております。

ニホンザルにつきましては、昨年度 1 年間での捕獲数は 3 頭でしたが、本年度は、被害集落の協力もいただいたことから、現時点で 14 頭の捕獲となっております。

有害鳥獣から農作物や人家等の被害を防止す

るには、効果的な追い払いや捕獲と電気柵の設置が最も有効であることから、引き続き、住民の方々、そして有害鳥獣駆除員の方々と協力しながら、有害鳥獣から農作物と住民を守る取組みを行って参る所存であります。

（観光振興対策について）

次に、観光振興対策について申し上げます。

先月 25 日に福島県内の観光客入込状況が公表されたところですが、これによりますと平成 28 年の本県観光客数は 5276 万 4 千人で、前年より 245 万 1 千人、4.9%増加しました。

うち、会津地方の入込数は 1616 万 8 千人で、前年より 20 万人、1.3%増加しました。

また、本町の入込数は 159 万 1 千人で、前年より 7364 人、0.5%の増加となりました。

本町の入込を分析いたしますと、雪不足の影響により町内スキー場の入込が 12 万 5 千人減少したほか、野口記念館などの三城潟地区や沼尻、中ノ沢温泉でも入込数が減少いたしました。昨年 11 月にオープンした「道の駅猪苗代」が新たに調査対象地点に加えられ、約 11 万 8 千人の入込があったことから、全体としては微増となったものです。

これから紅葉シーズン、その後はスキーシーズンを迎えますが、土津神社では商工会青年部による「紅葉ライトアップ事業」、また、猪苗代町内のスキー場では、昨年に引き続き共通リフト券の発行を予定しておりますので、これらの事業支援や、道の駅での観光情報発信の充実にも努めながら、さらなる観光誘客に努めて参る所存であります。

（風評被害対策について）

次に、本年6月以降の風評被害対策について申し上げます。

8月4日から8月6日までの3日間、天神浜では「オハラ☆ブレイク ‘17 夏」が開催されました。

このイベントは、音楽をはじめ、美術や写真など、様々なジャンルのアーティストによる「大人の文化祭」をコンセプトに開催され、期間中の来場者は昨年を700人上回る約4700人となりました。

会場には、町商工会青年部、猪苗代青年会議所、JA会津よつば青年連盟猪苗代支部が協力して「猪苗代食堂」が開設され、猪苗代天のつぶと蕎麦を使った「そばめし」や「アスパラの春巻き」、このほか、町内産の野菜や米、花なども販売され、

本町の食の魅力を広く発信できたと捉えております。

イベントの開催内容はフェイスブックなどのSNSにも掲載され、観光PRはもとより本町の安全・安心を全国に発信し、風評被害払拭に大きな効果があったと評価をいたしております。

次に、先月13日に開催された、いなわしろ花火大会について申し上げます。

いなわしろ花火大会は、東日本大震災からの復興並びに風評被害払拭を目的に平成23年から実施し今年で7回目を迎えました。

今年の花火大会はテーマを「未来」とし、町内関係団体の協力と町内外から多くのご協賛をいただき無事開催することができました。

事前の新聞やラジオなどによる告知と当日は天候にも恵まれたことから、昼の部のイベントを含めた観覧者数は会場周辺を含め約1万7千人と推計しております。来町いただきました皆様には、楽しいひと時を過ごしていただくとともに、本町の自然の美しさと、安全・安心を実感いただけたものと確信しております。

また、震災後、低迷している教育旅行の回復を図るためバス代を助成する教育旅行支援事業を実施しているところでありますが、今年は春先から

問い合わせが多く、6月上旬には予算額に達したところであります。

現在もバス助成の問い合わせや要望があることから、これらの事業支援も行いながら教育旅行の回復と風評被害の払拭に努めてまいります。

（原子力損害の損害賠償請求と支払い状況について）

次に、原発事故による町内事業者に対する損害賠償の状況について申し上げます。

東京電力ホールディングス株式会社会津若松補償相談センターからの情報によると、本年7月末現在の本町事業者に対する損害賠償金の支払額は、延べ3,240件で、約182億7千万円となっております。

町東日本大震災風評被害対策連絡会議では、毎月町商工会で開催される会津若松補償相談センター主催の相談会について、引き続き町民の皆様にチラシを回覧し、損害賠償請求漏れがないよう努めてまいります。

（図書歴史情報館について）

次に図書歴史情報館について申し上げます。

開館４年目を迎えました町図書歴史情報館「和^{なご}みいな」では、６月２８日に入館者１０万人を数えるなど、開館以来、多くの皆様にご利用いただいてまいりました。

図書の貸出のみならず、ボランティアの皆様のご協力を得て、読み聞かせ会や講演会等も開催しながら、公立図書館としての役割を果たしております。

また、歴史情報室やむかし体験館を活用し、「七夕」や「夜」のお話会など季節に応じた行事とともに、「^{ふじさわ ただし}藤澤 忠 切り絵展」や「みちのくの木地玩具展」、「小林栄展」などの企画展も開催し、多くの町民の皆様にお越しいただけるよう努めているところです。

歴史情報室の常設展示では、郷土の歴史や文化について時代を追って展示し、展示物の入れ替えなども行いながら、常に新しい情報の発信を行ってまいります。

今後も「学びいな」とともに、施設の適切な維持管理に努め、官民協働を推進して、本町の歴史と文化の更なる向上を目指してまいります。

（提出案件）

最後に、本定例会に提出いたしました議案について申し上げます。

提出いたしました案件は、
専決処分の報告案件が 1 件、
平成 28 年度歳入歳出決算の認定案件が 3 件、
平成 29 年度補正予算案件が 13 件、
条例の一部改正案件が 5 件、
財産の処分に関する案件が 1 件、

そして、過疎地域自立促進計画の一部変更案件が 1 件、の計 24 件であります。

まず、認定第 1 号「平成 28 年度猪苗代町歳入歳出決算の認定について」であります。一般会計及び特別会計に係る決算書と「平成 28 年度決算にかかる主要な施策の成果実績概要書及び基金運用状況報告書」、監査委員の「平成 28 年度猪苗代町各会計決算及び各基金運用状況審査意見書」並びに「平成 28 年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく審査意見書」を添えて提出しております。

決算の内容につきましては、会計管理者より説明いたさせますので、何卒ご認定賜りますようお願い申し上げます。

次に、「認定第 2 号 平成 28 年度猪苗代町病

院事業会計決算の認定について」及び「認定第3号 猪苗代町水道事業会計決算の認定について」であります。それぞれの決算書と監査委員の「歳入歳出決算の審査意見」並びに「平成28年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく審査意見書」を添えて提出しております。

決算の内容につきましては、保健福祉課長及び上下水道課長に説明いたさせますので、何卒ご認定賜りますようお願い申し上げます。

以上、提出議案につきましてご説明申し上げましたが、各議案の細部につきましては、それぞれ所管する担当課長に説明いたさせますので、慎重にご審議のうえ、速やかなご議決を賜りますようお願い申し上げます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。